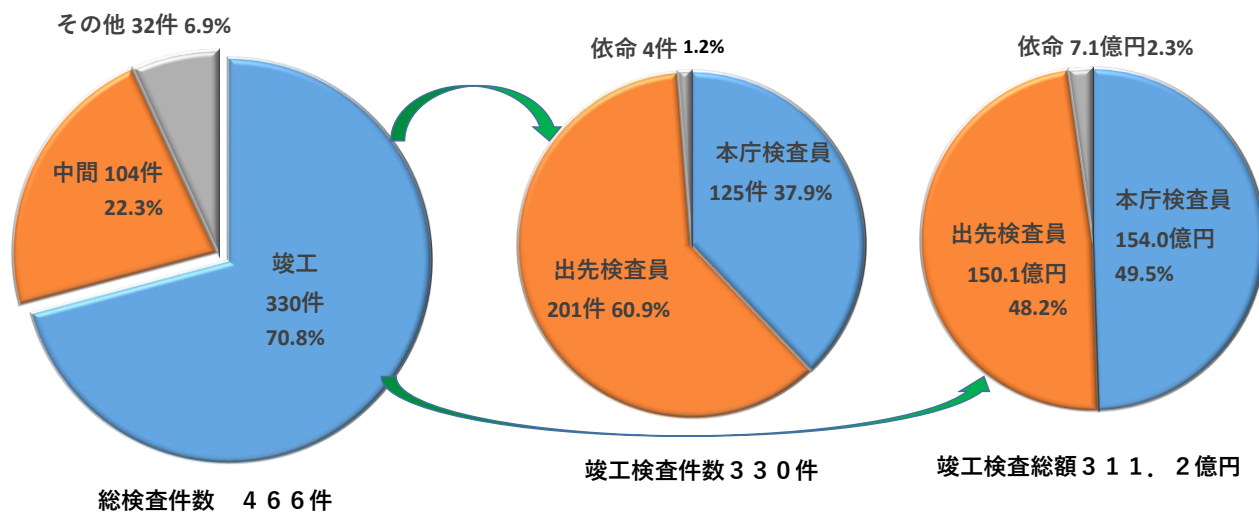


◇令和6年度上半期の工事検査実績は次のとおりです。
 ◇データ集計期間は、令和6年4月1日から令和6年9月30日までです。

1 実績/全体

① 検査件数（検査区分別・検査員別）

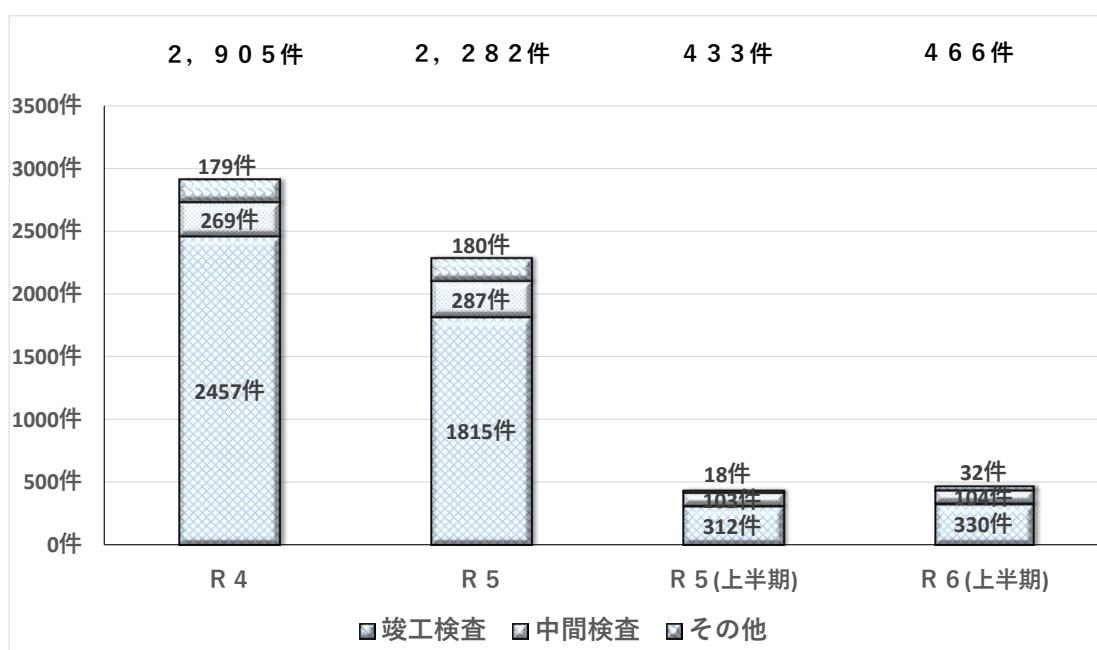


◇ 令和6年度上半期の総検査件数は466件でした。うち、竣工検査は330件（70.8%）、中間検査は104件（22.3%）でした。

なお、「その他」の分類には「一部竣工検査」及び「既済部分検査」が含まれています。

竣工検査の内訳は、本庁検査員検査が125件（37.9%）、154.0億円（49.5%）、出先検査員検査が201件（60.9%）、150.1億円（48.2%）でした。

② 3年間の検査件数の推移

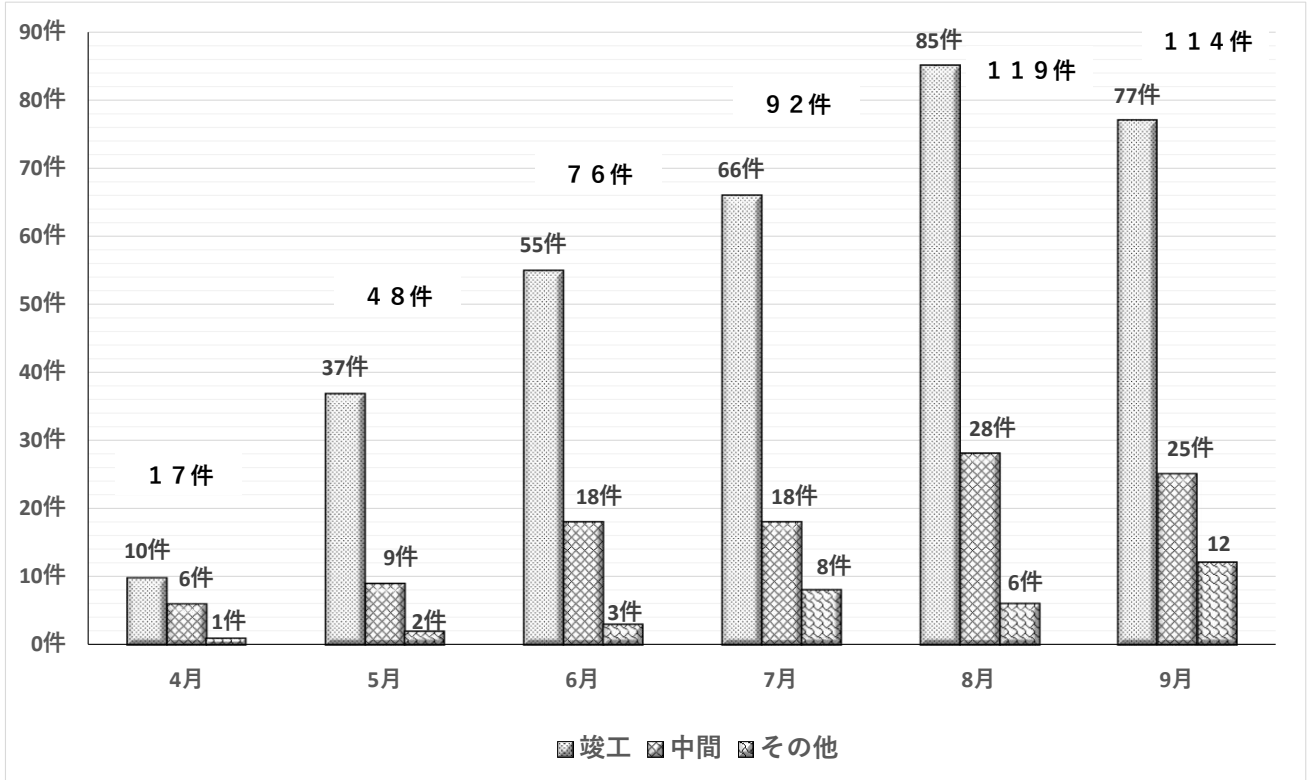


◇ 令和6年度上半期の総検査件数は466件となり、令和5年度上半期433件と比較して33件増加（7.6%増）しました。

竣工検査は330件となり、前年度同期より18件増加（5.8%増）しました。

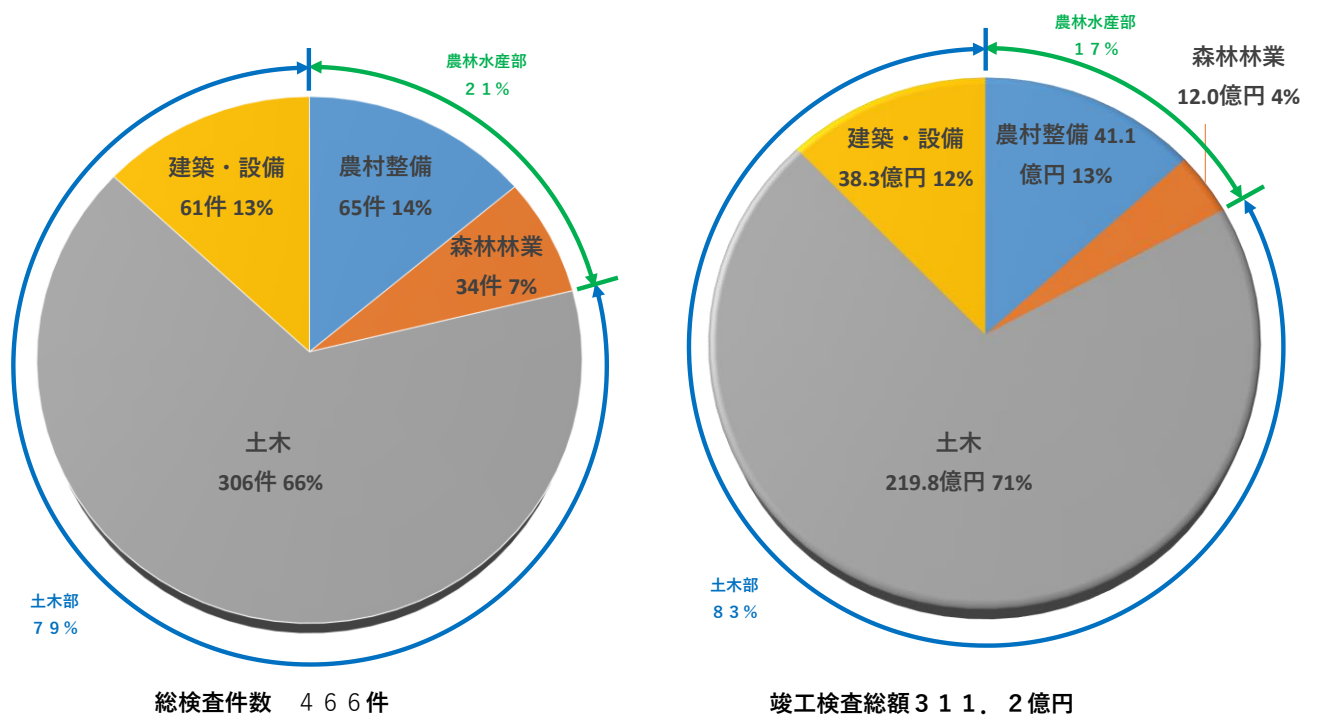
中間検査はほぼ前年度並みの104件、その他の検査は32件でした。

③ 月別の検査件数



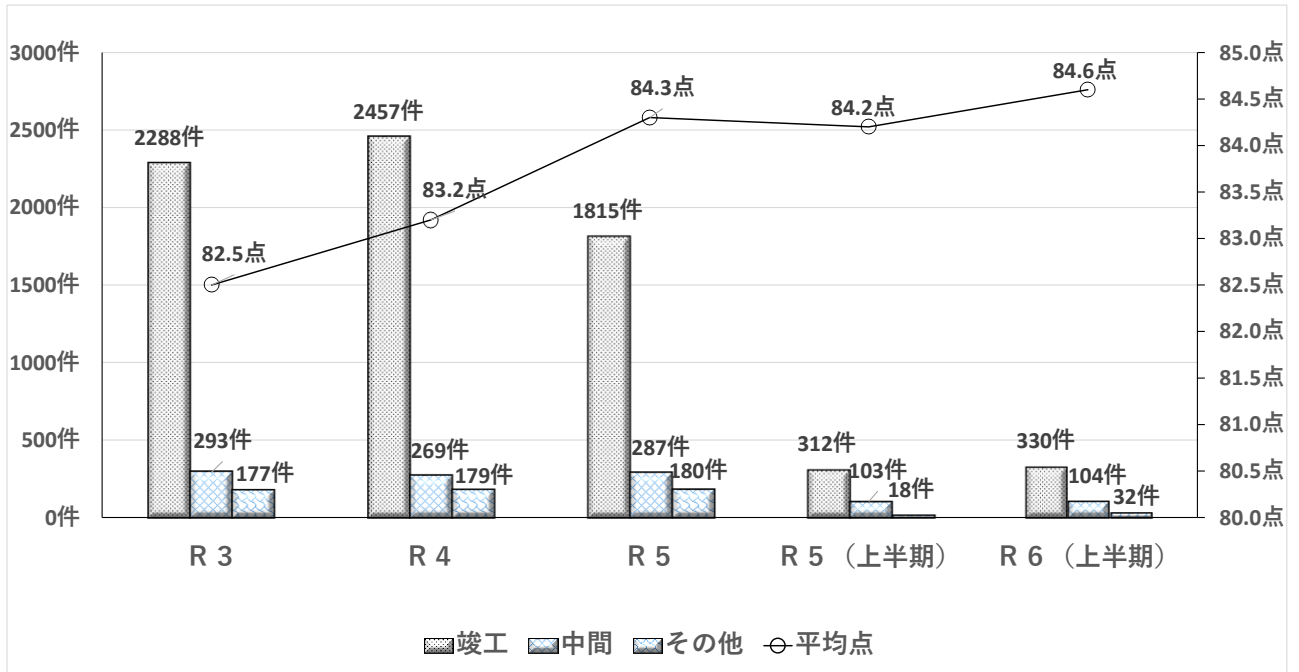
◇ 令和6年度上半期月ごとの工事検査件数は、4月が最も少なく17件、8月が最も多く119件、中間検査件数は、8月が最も多く28件でした。

④ 竣工検査件数の内訳（発注者区分・金額）



◇ 検査件数は土木部(土木、建築・設備)で79%、農林水産部(農村整備、森林林業)で21%、竣工検査総額では、土木部(土木、建築・設備)で83%、農林水産部(農村整備、森林林業)で17%でした。

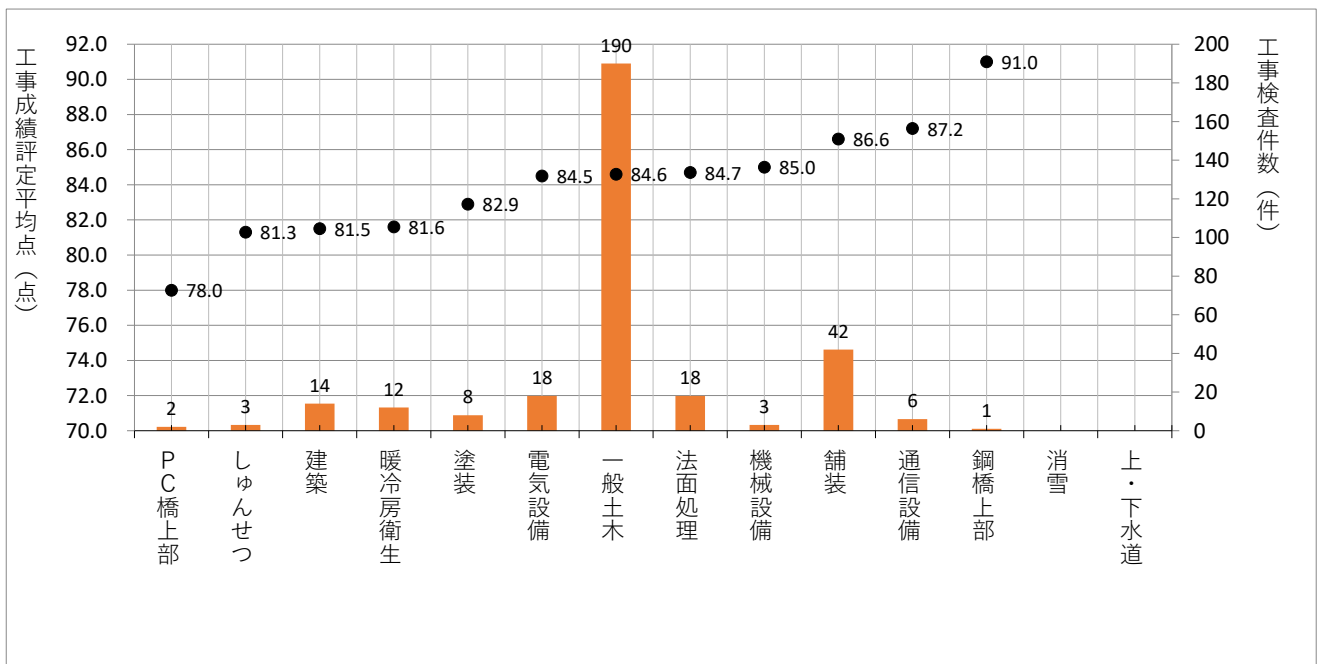
⑤ 工事成績平均点の推移



◇ 工事成績評定の平均点は、令和3年度が82.5点、令和4年度が83.2点、令和5年度が84.3点と上昇傾向にあり、令和6年度上半期の工事成績評定の平均84.6点となり、前年度同期と比較して0.4点高くなりました。

⑥ 工種別平均点

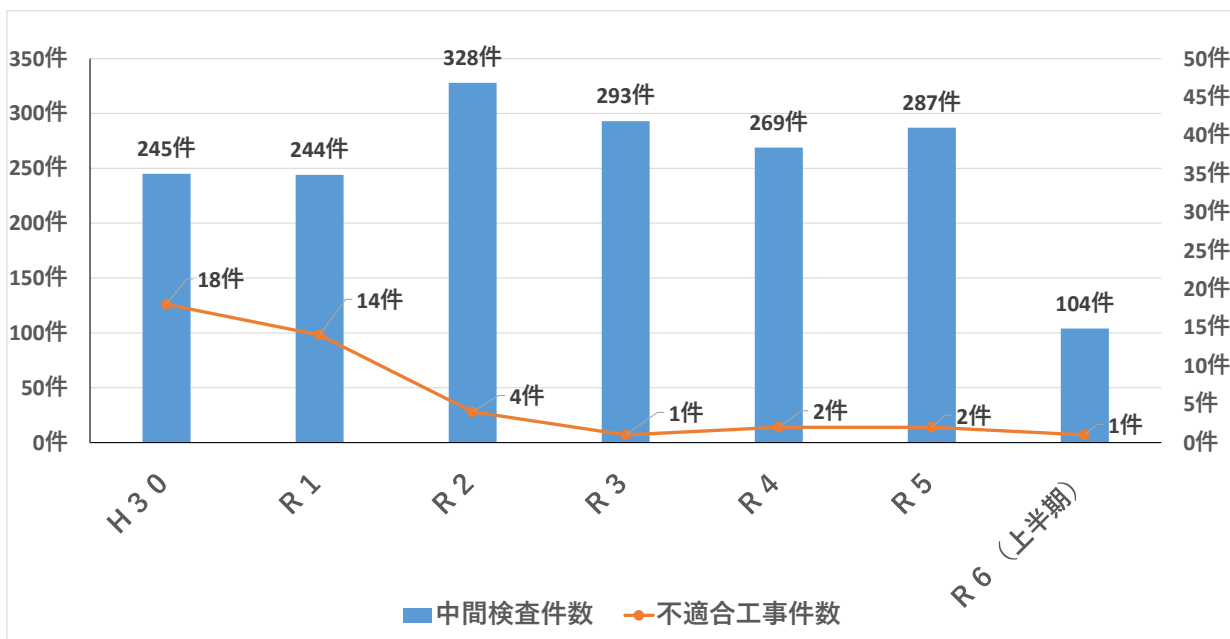
工種	P C橋上部	しゅんせつ	建築	暖冷房衛生	塗装	電気設備	一般土木	法面処理	機械設備	舗装	通信設備	鋼橋上部	消雪	上・下水道	計
平均点	78.0	81.3	81.5	81.6	82.9	84.5	84.6	84.7	85.0	86.6	87.2	91.0			84.6
件数	2	3	14	12	8	18	190	18	3	42	6	1			317



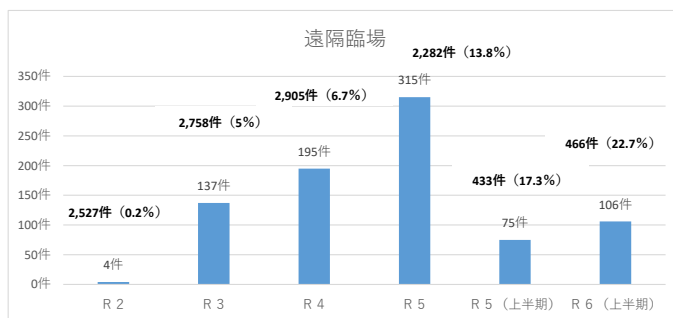
◇ 全体の平均84.6点に対して、工事件数の多い工種の順に、一般土木84.6点、舗装86.6点、法面処理84.7点、電気設備84.5点、建築81.5点となっています。

2 令和6年度上半期検査結果（まとめ）

- 令和6年度上半期の検査件数は、466件で前年同期比で33件（7.6%）増加しました。
内訳は、竣工検査は330件（312件）で18件増、中間検査は104件（103件）で1件増、一部竣工検査は20件（8件）で12件増、既済部分検査は12件（10件）で2件増となりました。
※（ ）書は令和5年度上半期
- 令和6年度上半期における竣工検査の工事成績評定平均点は84.6点で令和5年度上半期84.2点と比べ0.4点高くなりました。
- 令和6年度上半期で不適合工事が1件発生しました。
その内容については、ホームページで情報提供しております。



- 工事検査課では、令和2年度からインターネット双方向通信による遠隔臨場検査を実施しております。



令和6年度上半期では106件実施し、昨年度同時期と比べ31件増加しています。

3 受注者の皆様へ

◇皆様には、日頃より円滑な工事検査の実施にご協力いただきありがとうございます。

工事検査課では「**工事検査の適正かつ厳正な実施**」並びに「**円滑で効率的な工事検査の実施**」を目標として、令和6年度の工事検査に取り組んでおります。

引き続き、建設工事の適正な履行を確認するとともに、安全で高品質な公共施設を提供するため適正かつ厳正な工事検査を実施してまいります。

◇また、品質確保のためには、工事施工段階での確認や指導が有効な手段であることから、**中間検査の活用**促進に努めるとともに、引き続き工事成績評定の客観性、透明性、公平性の向上に取り組んでまいります。

◇さらに、効率的な検査実施に向けては、現場・書類ともに時間短縮効果が高く、感染症対策にも有効な「**遠隔臨場検査**」について、積極的に実施してまいりますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。